

檜葉町避難指示解除10年町長メッセージ

10年前の今日、2015年9月5日に檜葉町の避難指示が解除になりました。

檜葉町は東日本大震災と原子力災害により全町避難を余儀なくされ、
見えない不安と深い喪失感を抱えながら、ふるさとを離れて過ごす長い日々が始まりました。
「もう一度檜葉に戻られるだろうか」
そんな言葉が頭をよぎることもなかったわけではありません。
しかし、町民の皆様一人ひとりのふるさとへの想いに後押しされ、
「必ず檜葉に帰る」と、そう決めた日のことを今でも思い出します。

先が見えない暗闇の中を進む。
そして暗闇の中に光をつくる。

そういう道を歩むことを、檜葉町は選択しました。
しかしながら、その選択があったからこそ、今の檜葉町があります。

当時は想像できなかったほどたくさん子どもたちの声が聞こえるようになり、
秋には黄金色に色づく田んぼの風景が広がり、町に灯りが戻ってきました。

この道を選んで、皆様と共に歩んできたことは間違いではなかったと思っています。

避難指示の解除は、檜葉町の新たなまちづくりのスタートラインだったと感じています。
この10年で、住宅や道路などの基盤整備、教育や医療、福祉の充実、産業の再生など、
復興の歩みを着実に進めて参りました。
また、それだけではなく、
町民の皆様方による「自分たちのふるさとを自分たちでもう一度つくる」
その想いと行動が積み重ねられた10年でもありました。

もちろん、人口減少や更なる産業振興に向けた課題は依然として残されておりますが、
檜葉町にある"ひとの力"が、町の未来を作り続けることを確信しております。

これからも、私たち檜葉町は「誰もが安心して暮らせるまち」「次世代が夢を描けるまち」を目指し、
復興から創生へと今後も着実に歩みを進めてまいります。

この記念すべき日に10年の歩みを振り返り、これまでの道のりを共に支え、応援して下さった
すべての皆さまに心からの感謝を申し上げます。
そして町民の皆様と共に、新たな10年を築き上げていくことをここに誓い、
避難指示解除10年のメッセージといたします。

2025年9月5日

檜葉町長 松本 幸英